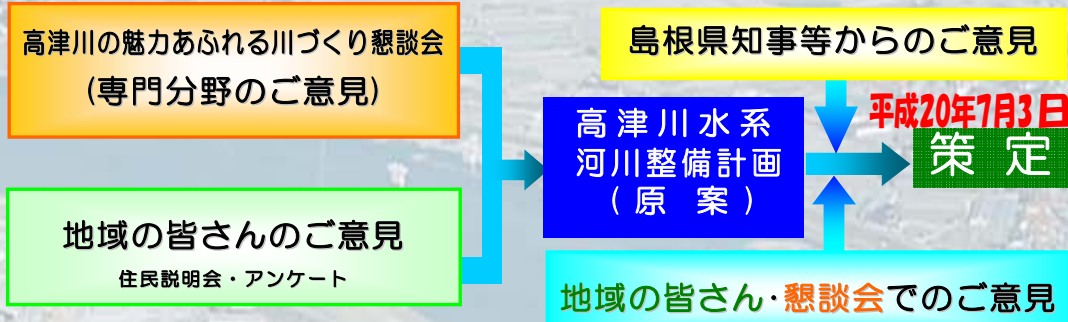




高津川水系河川整備計画(概要版)

高津川(国管理区間)の、今後の川づくりを進めるため、河川整備計画を平成20年7月3日に策定しました。
当計画は、地域の皆さんの御意見、専門分野の方々の御意見を頂き、作成しました。

高津川水系河川整備計画ができるまで



高津川って?

- 源流は島根県鹿足郡吉賀町田野原です
- 流域面積は約 1,090km²です
- 流域内にある市町は1市2町です
- 流域内には、約4万人の人々が住んでいます

■ 国土交通省が管理している高津川水系の長さ

| | |
|-------|---------|
| 高津川 | 14.2km |
| 高津川派川 | 2.75km |
| 白上川 | 2.00km |
| 匹見川 | 1.03km |
| 合計 | 19.98km |



高津川の整備に関する基本的理念

高津川の河川整備計画では、洪水等による被害から沿川住民の生活を守り、豊かな自然環境とその風土に培われた河川文化を継承し、河川利用による地域交流を活性化させる川を目指すため、次の3つの基本理念を柱とし、河川整備を進めていきます。

基本理念

①安全で安心して暮らせる川づくり

過去の被害を踏まえ、基本方針で定めた目標に向け、整備計画期間で実現可能な段階的な整備を行い、人々が安全で安心して暮らせるための川づくりを目指します。

②豊かな自然を未来に伝える川づくり

アユを代表とする豊かな生物の生息・生育環境や清流高津川の美しい河川景観を保全し、未来に伝えることのできる川づくりを目指します。

③地域の活性化を創造する川づくり

水遊びのできる川、水辺に近づきやすい川、馴染みのある川としての高津川の水辺の魅力を最大限に活かし、川でしか体験できないような学習、交流の拠点となるような川づくりを目指します。

高津川の現状と課題

・繰り返される洪水被害!

高津川は、過去に多くの洪水被害を繰り返してきました。これまでも長い時間をかけて治水対策を進めてきましたが、まだまだ十分とはいえません。
昭和18年9月に発生し流域に壊滅的な被害をもたらした洪水についても、安全に流すことの出来ない箇所があるほか、石西地方の中心的な役割を担っている下流の益田市街地が洪水で被災すると、流域内の防災活動等にも支障をきたす恐れがあります。

■高津川における主要洪水

| 発生年月日 | 発生原因 | 高角地点観測流量(m ³ /s) | 人的被害 | 家屋被害 | | | 浸水面積(ha) |
|------------------|------|-----------------------------|------------------------|----------|---------|---------|----------|
| | | | | 全半壊家屋(棟) | 床上浸水(棟) | 床下浸水(棟) | |
| 昭和18(1943)年9月19日 | 台風 | 4,000(推定) | 死者・不明者 益田町108名 美濃郡136名 | 5,784 | 3,921 | 209 | 不明 |
| 昭和47(1972)年7月10日 | 梅雨前線 | 5,000(推定) | - | 64 | 751 | 1,232 | 1,254 |
| 昭和55(1980)年8月31日 | 梅雨前線 | 2,800 | - | - | 4 | 50 | 13 |
| 昭和56(1981)年6月27日 | 梅雨前線 | 2,800 | - | - | 4 | 59 | 18 |
| 昭和58(1983)年7月23日 | 梅雨前線 | 2,500 | - | 60 | 53 | 260 | 222 |
| 昭和60(1985)年6月24日 | 梅雨前線 | 3,200 | - | 2 | 9 | 155 | 348 |
| 平成9(1997)年7月27日 | 台風 | 3,300 | - | - | - | 25 | 123 |

※昭和58年7月洪水における益田市街地の浸水は益田川の氾濫によるものである。



昭和18年9月洪水による益田市街地の被災状況



昭和47年7月洪水による虫追橋の被災状況

・脆弱な堤防の存在

現在の堤防は、昭和初期より順次築堤されてきたもので、築堤年代が古いものが多く、さらにその当時の技術の信頼性も定かでない、構造も不明な要素が多いことから、堤防からの漏水による被害も見られます。

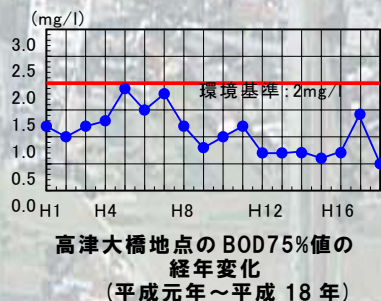


平成9年7月洪水による堤防法尻からの漏水状況

近年では、平成9年7月洪水において、堤防の居住側の法面下から水が漏れ出した箇所もあり、このような箇所では堤防の決壊につながる可能性があります。

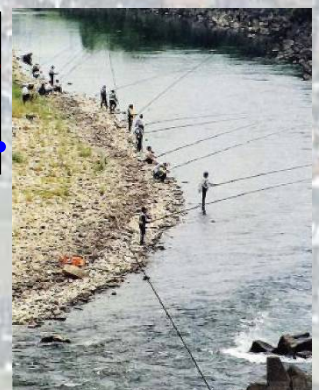
・良好な水質や河川環境

河川の水質をみると、BOD値による平均水質が平成18年の調査結果において全国1位にランクされ、清流高津川の名に恥じない状況にあります。



高津大橋地点のBOD75%値の経年変化(平成元年~平成18年)

また、瀬や淵の連続した良好で自然な河川環境が維持されている高津川は、天然遡上のアユが多いこともあり、関東・関西方面からもアユ釣り客が訪れるほどの人気を博しています。



高津川のアユ釣り風景

■今後の30年間で行う河川整備の目標と実施計画

①安全で安心して暮らせる川づくり

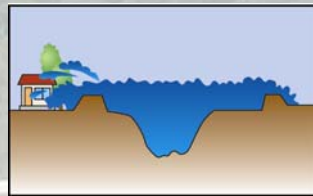
目標

流域に壊滅的被害をもたらした既往第2位の昭和18年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させることができるようにします。さらに益田市街地の区間は、河川整備基本方針に位置付けられている、河道において分担する流量 $4,900\text{m}^3/\text{s}$ （高角地点）に相当する洪水を安全に流下させることができるようにします。

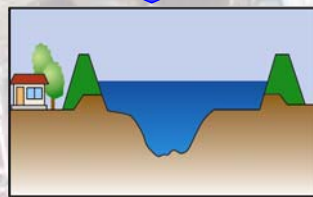
実施

・築堤、河床掘削、樹木伐開を行います。

■奥田地区等、堤防の高さが足りないところは堤防を高くします。
・・・築堤

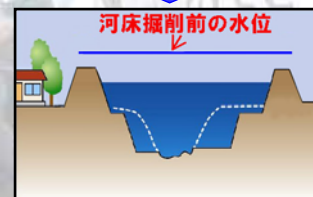
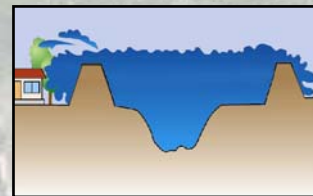


整備前

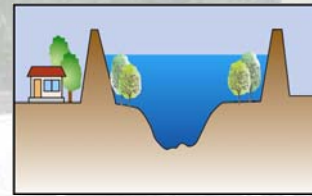


整備後

■川の中を掘り面積を増やします（洪水時の水位を下げます）
・・・河床掘削



■川の中の樹木を伐開して水の流れを良くします（洪水時の水位を下げます）
・・・樹木伐開



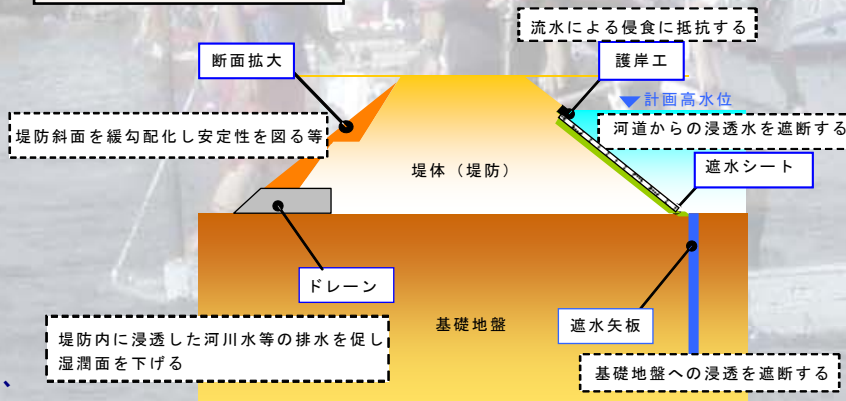
目標

堤防に求められている河川水の浸透に対する安全性を照査した上で、緊急性の高い箇所から堤防の強化を図り、安全性を向上させます。

実施

・堤防の浸透対策を行います。

※実施に際しては、区間毎の状況を考慮し、最適な対策工を採用します。



■堤防の浸透対策のイメージ図

目標

災害時はもとより、日常からの防災意識の向上や情報連絡体制等、災害発生時の被害軽減に努めます。

実施

- ・災害支援物資の備蓄基地機能、災害情報の集配信機能、水防団等の活動拠点機能、物資輸送の基地機能等の水防活動を支援する拠点として、益田市と連携して、河川防災ステーションを整備します。
- ・関係機関と雨量、水位、水位予測等、洪水時に必要な情報の共有と地域住民への情報発信を行います。
- ・災害に備え、水防訓練、関係機関との連絡体制の確認等、水防体制の充実を図ります。



■高津川河川防災ステーションのイメージ図

実施

- ・河川管理施設等が災害時に十分な機能を発揮できるように、堤防、水門、排水ポンプ場等の維持管理を行うとともに、河川巡視も行います。
- ・内水対策として、排水ポンプ車の出動支援等を行います。



河川パトロール



排水ポンプ車の支援活動

②豊かな自然を未来へ伝える川づくり

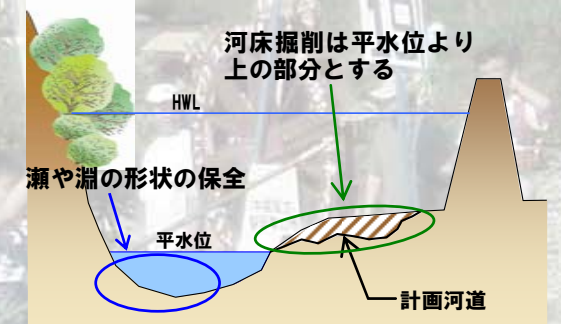
目標

良好な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全に努めます。

- アユ産卵場の保全
- 瀬・淵の保全
- 水際と緑の連続性確保

実施

- ・河床掘削等の工事を行う場合は、平水位以上の掘削を基本とするなど、アユ産卵場や瀬、淵及び礫河原の保全に努めます。
- ・良好な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全のために必要な環境調査を行います。



目標

良好な水質、現状の流況の維持に努めます。

実施

- ・現状の良好な水質の確保に努めるため、定期的に水質調査を実施し、水質監視を行います。
- ・渇水時には関係機関と調整の上、節水や水利用の調整に努めるとともに生態系への影響把握のための環境調査等を実施します。

③地域の活性化を創造する川づくり

目標

積極的な住民参加と地域連携を推進し、地域の活性化に寄与できる川づくりを目指します。瀬・淵の連続する高津川の美しい河川景観を保全します。

実施

- ・柿本神社の流鏝馬（やぶさめ）神事や、いかだ流し大会、益田水郷祭（ホーランデー）等に高津川が利用されていることから、地域の皆さんが高津川に親しみを持ち、安全に利用できるよう、ゴミの不法投棄に対する監視等、河川空間の適正な利用を推進します。
- ・「水辺E N組プログラム」等、地域と連携した河川美化活動および意識啓発に努めます。
- ・河道内に繁茂する草本類や樹木及び堆積土砂を撤去することにより、高津川の美しい河川景観の維持・形成に努めます。



高津川の“いかだ流し大会”